

2019年9月吉日

お客様各位

一般財団法人化学物質評価研究機構

東京事業所 クロマト技術部

TEL: 0480-37-2601 / FAX: 0480-37-2521

E-mail: chromat@ceri.jp

## GC カラム G-column の出荷時の荷姿変更のお知らせ

謹啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本機構製品にご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

従来より、G-column にリードキャピラリーを接続して出荷しておりましたが、2019年10月より、G-column に接続せずに出荷することに変更いたします。部品の数、種類、価格の変更はありません。接続方法は、取扱説明書、又はホームページをご覧ください

([https://www.cerij.or.jp/service/09\\_chromatography/G-column\\_setting\\_01.html](https://www.cerij.or.jp/service/09_chromatography/G-column_setting_01.html))。

今後とも本機構製品にご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

敬具

## 記

梱包状態の詳細: 下線部が変更箇所

|              | 2019年9月末まで  | 2019年10月以降   |
|--------------|---|--|
| カラム本体        | カラム両端にシリコン栓 <sup>※</sup> で封しています  | カラム両端にシリコン栓 <sup>※</sup> で封しています   |
| リードキャピラリー仕様  | カラムにリードキャピラリーを接続しています<br>カラムハンガー1本<br>スパナ1組   | <u>カラム本体(カラム両端にシリコン栓<sup>※</sup>で封しています)</u><br>カラムハンガー1本<br>スパナ1組<br>リードキャピラリー接続用オシネ2個<br><u>リードキャピラリー接続用オシネ2個</u><br>G-column 接続用オシネ2個<br>G-column 接続用フェラル2個<br>リードキャピラリー2本                        |
| ワンタッチインサート仕様 | カラムにリードキャピラリーを接続しています<br>カラムハンガー1本<br>スパナ1組<br>ワンタッチインサート1組   | <u>カラム本体(カラム両端にシリコン栓<sup>※</sup>で封しています)</u><br>カラムハンガー1本<br>スパナ1組<br>ワンタッチインサート1組<br><u>リードキャピラリー接続用オシネ2個</u><br><u>リードキャピラリー接続用オシネ2個</u><br>G-column 接続用オシネ2個<br>G-column 接続用フェラル2個<br>リードキャピラリー2本 |
| ステンレス製接続管仕様  | カラムにリードキャピラリーを接続しています<br>カラムハンガー1本<br>スパナ1組<br>ステンレス製接続管1組<br>ガラスインサート1組<br>リードキャピラリー接続用オシネ2個<br>リードキャピラリー接続用フェラル2個 | <u>カラム本体(カラム両端にシリコン栓<sup>※</sup>で封しています)</u><br>カラムハンガー1本<br>スパナ1組<br>ステンレス製接続管1組<br>ガラスインサート1組<br>リードキャピラリー接続用オシネ4個<br>リードキャピラリー接続用フェラル4個<br>G-column 接続用オシネ2個<br>G-column 接続用フェラル2個<br>リードキャピラリー2本 |

※ 液相の経時変化を抑えるため、シリコン栓でキャップをして出荷します。そのままでは保管は可能ですが、材質の特性上、カラム内と外気を、完全に遮断することはできません。定期的に酸素を含まないキャリアーガスでカラム内を置換することで、より長く G-column の性能を保つことができます。

以上